一 士たる者ハ道義をまもり人に貞信を
以てし無偽にして主君振舞正路にして
物事あしく候ても士の振舞を守る
命をすつる古の士ハ身をせめ貞信を
難有[illegible]無偽心を守り主君振舞
不孝[illegible]のおのれを智をよく
まて自慢す貞信なきゆへに付て
初ハ[illegible]見ゆれとも[illegible]なる心
有しゆへ剣先[illegible]

[illegible]ひ様人ニ化さると又見候へて
うハ本と見申ると見てこも[illegible]
心得る皆同然の人にてハ[illegible]智
互のこゝろ[illegible]無事にて[illegible]
有ゆへに武ハ己の役儀あるハ[illegible]に
つき[illegible]君[illegible]のも[illegible]者の
[illegible]にて[illegible]
まてハ[illegible]
元来[illegible]一篇の[illegible]

いれ本々にのをみてうるゝ時乃権柄をえん
真實乃志なれともそれ一命を捨ゝて為
歳の用にたゝぬやつハ殊とするはゆる
古語にもくれとれの人ましくハ大う
汝殺乃将ゆは周公のオ美貴に富とも
かゝる輩にはないんは文事無法裸人と
称す内に出奥乗弱にして才智とあく
礼法を不弁まへてつれ何しきずをハ
嫁ゝて酒宴遊興に日を送る者多し

是は武士のあしきくせと終堂に帰ん
君の海へまハ堪えゆへとも来々汝殺を
破せし中にに同しくいはゆる此面耶乃への行を似
いそられ押よてお花れ
一
家中の士列て謙譲遜をむとへんむ
り文王ハ緩寛なとあらてはそや
様乃男様の女をと海満いもれは天下を
三分に二を保ひく重へのなく相えし是と
女郎よハ浦して更よりいの不乃とあいかへい

いふしきものをあらためらるへきにや
補せらるゝ人とうちかはりし時の
法令にも貴族のうちあまたかさなり
もとより官位高き事にはといへとも
なかりけり貴子にても下臈の人は
中将にあきらめたるまゝに
参議の人をも上卿とし
為下の中には経初をひらき　式
代々のかく上座へあかりし事は

一位も二位も待遇のかゝ
前もその後も更の宿を此人を
よみ人の宿をまけれは
まつ我さりし由を内にも
まひりて小男なるもの
かゝるたくのなかには大勢
聞けりても知られしらも
中程には前の聞え残るもの
歴々の者有

一 當代世之風俗質朴斎の京体と花く
余見たるまでも年さまを揃ゆしは桜田門
又ハ書画るの対しはてハ一八言に是まで
作りるハ儒学ありける人靱代とく
見ゆる世の風はうれしむつらしき所しいハ
主君と若年なる家老にいふまことよ士の作法よ
分かしいとすにはて相まハ士ハ分限まあた
ふりけりて諸事は結分る道法を 能々を
作る口ハ其ところをさせるかなくしてそ主意まかれ

様て同心ハ歴々まきさえと事とて [illegible]
對面し能く髪あらひおもて拵え髪を
出あるひ口く拵えて出る事ハ命
短ゆと見え来候えは是分を嗜く出るか
ところ時の天子武王の叔父まて天下の権
政まて握し中々とと継けはまれて聖
く[illegible]くれとく道徳なる権勢なる
しぞくしいまんや其の耳を聞かれて言は
の所は[illegible]海さえみ此中乃蝶まてにハ

むかしより和漢とも世雷をひろめ見
人情をよく存じたるものにつかわやうにむか
しくとり用しかる撰者りの来る事法
世家をもつて世事一定道法作法をもつ
やうにいろいろくくの
書孔子の門人子游曾子武城の宰ゆきなり
し時孔子より弟子をたつねおくりとつかひ
をもつて澹臺滅明をもつてのみ游をもつて
治事をとりしまり道理をもつて公用にあら

ずれば法不手事をもつて治事をもつて
弟子と言ふ古人代風俗大形をもつて
見式の儀よりも世事にて滅明の公海
面をもつて治事をもつて法をもつて
とりつかひたるものをもつて人をもつて
而あつかれたるものをもつて法なり
時のまひの物をもつて法をもつて事をの
つかうこと公用の外法をもつてけ
事時をもつて為をもつて孔門の学問

これほとやすく称名をもうさは弥陀をたのみけ
るものは称名をもうしかはかならすそれの
要旨を主体とせらるゝ故にいかにも
まとひありくに宝演尼か[illegible]
論語をもみて此世よりて大方蔵流を
加之は其の衆生をすくはせんは弥陀を
誰れかは流転せんに法身に至る
さ心もの衆生をあはれみて弥陀の本願
意の実用よりさきさうの浄流をたもし

弥陀仏は衆生のために一劫の
道理をもつて衆生の要旨をまもりて
称名をもつはらにもうしては自身の
ましむるは其より[illegible]入をえらひは
衆生を済度の[illegible]平生の
念仏をもつて[illegible]
衆生をたのみ[illegible]
士の[illegible]
をもつて[illegible]

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

てゐには

一 當代士の寄會を聞及ふにおゐてハ賓主
ともに禮儀をたゞしくせず只けのなき事に
只酒をのみ声たかく…ひの言葉又ハ人の
噂咄のみとかし 或酔狂をし或は…
…
一座しても士の作法にてハなく…
寄會にてハ士の…禮法…
出…

幾…物語なと…
…
其…
解く…
なる…作法よりは…
中の士と寄會には…

一 家中乃士武備を…武國乃…
御役…の人馬…
以て射…鎗…技術を…

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

将之大事ハ組之者の働を法とし其の
外あまり精出し武功ハ沙汰に不及
手前の働きいふても一人の軍法に背く失
是に依て組軍中の法令を固く定置
通りに平生兵法を戦場に用ゆへき
事也　極まつもなる事なれ
一 武備は平生の事に平生の心を
武備は常に心にかけ油断なく是を
常に心懸る事本より武備を

思ひの外の[illegible]ちよとも是ハ
将たる事なり[illegible]是に依て其軍に之を
中々のことくこれハ無案内なる一向く
ならぬことも武功の者ハ未練の士中に[illegible]
武士の常に心よき事に油断なき事なく
[illegible]之候ハ兄弟をも[illegible]云事之
[illegible]出入ハ心をかけ大事に
[illegible]ことに油断なく心がけ[illegible]
兄ハ弟を兄に戦場に臨てハ無案内

世の中おほくは[illegible]一旦の無常
まぬかれ難き所なり ひとへに[illegible]して士乃
死は[illegible]忠孝をつくし[illegible]
先に[illegible]御ともせんと[illegible]
一筋に潔く[illegible]士乃[illegible]上臈と
ありけるも[illegible]大敵武備をかためけれハ
無常[illegible]周公[illegible]

明君家訓

一 父母[illegible]喪[illegible]

一 [illegible]法[illegible]の聖人[illegible]
[illegible]親[illegible]して直く[illegible]
父母兄弟親族[illegible]喪服の月数
聖人の御代[illegible]父母は三年[illegible]兄弟親
族[illegible]法[illegible]其[illegible]
[illegible]聖人[illegible]法のことく喪服[illegible]
[illegible]
[illegible]三年乃喪
[illegible]喪[illegible]古法のことく[illegible]

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

中ころよりそ帰まてはへらぬことになり父母の喪は
忌服親疎によりて軽重の道あり。おほよそ
君臣朋友なる師弟の哀傷は
中古は喪に服してうゑ声をあげて
なげきかなしみひとり居て肉酒をのまず女
色をちかつけずをもはけしきの酒をのみて物と
しんひんするは純中父母の喪は一代の
大事なれはこれをもてひとりをも教は父母を
思ひ[illegible]

[illegible]哀[illegible]より大切[illegible]
この禮祿乃内より勝れて[illegible]
[illegible]の後を三十六時中[illegible]強[illegible]あれ
[illegible]小念仏[illegible]
[illegible]海[illegible]
[illegible]一筋[illegible]
[illegible]
[illegible]
その[illegible]哀傷乃気[illegible]

いつはりや父母のをしへをわすれて己か身
まては姆のまひ思ひ出し千日もとは甘やか
にいりしあらく殺ははその花をく八諸句純なる
との称さう秋の衛と寡のまうれは武士の
法とあらす女にん座しそ身としそしまい
殺逸を照乃と称とは云を見風諸をもれと已
且勝はたまくらかとめ内外に花をかなさす
めかれ心のまてしかくれ云且も父母の恩をしらさ
日夜日しかりもそしくてまとえすこたく

いへとも馳驢の掟を知のは今また雜忘猶
まことにや御して父母にはいかりに親甚を
ほそりは己は情あたすかくれいまと父母の情
けかくしてこと食減まれ乃なのしに天はなく
れは名残を惜み涙ながらに流し子ともの差
を恩をおもひ情をそんとて何とも思ひ切
たりは死して志河への生乃土となりぬとの
せんさくに及て事にはく今しは文武士は
戦場に臨んては我を忘るる世をおもふことに

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

[illegible]

[illegible]

[illegible]

但ハ[illegible]ニ[illegible]法ニ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ノ[illegible]ニ[illegible]
[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ

[illegible]

一 [illegible]中の作ひく寄合乃料理間[illegible]

[illegible]一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

料理のうあひ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

中ごろ[illegible]
[illegible]
[illegible]

あく[illegible]ひとく[illegible]ひ[illegible]
見て面白[illegible]
[illegible]
[illegible]

黄絲ハ[illegible]ハ別紙ニ[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

用之[illegible]紙[illegible]

一 [illegible]

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人作ひさ利喜なのと皆来いやの人義理の
方よりの作うとなるあの中くの利をもと言と
そこくの名をもて一篇うくこと面く
に知るの中にくを義理を三中に作るは義理
くことなるの利欲りうとく利欲りくこと
をの義理くうとり義理りくこをもて
士とし利欲くはなるて町人は士うて
利欲くこと義一向うもてるの中くに
くこを義理くうとるべきとなりはりに

とくより利欲の事をいはしていまを
極義せんまくを君をもを作ひの様を作
るの中くにくりの作り又巻を拾くら
巻をれて祥瑞を勝りもせをを後士の
うをもて見るり町人乃至利欲をもて
むり出仕はとの器を作くとくと見を
家の業業あるあるひをくをもてむを愛
は見即何くこくあるひを海をてをくに
又家をくく織一命のを義をもてをく織

如ニ進ル[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ